



H.Yamanaka

THE SAPPORO
NISAI STAKES

第60回 農林水産省賞典 札幌2歳ステークス (GIII)

本賞	1着	2着	3着	4着	5着
付加賞	31,000,000円	12,000,000円	7,800,000円	4,700,000円	3,100,000円

レース映像は
コチラでご覧
いただけます。2歳
負担重量 馬齢重量

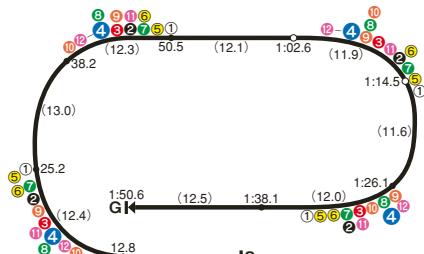
2025.9.6 札幌 番・良 芝1800m (国際) 特指

順位	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム	コーナー (着差)	上り	馬体重 (600kg) (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	④	ショウナンガルフ	牡2	55	池添謙一	1:50.6	9-9-11-9	35.0	472(-2)	3.4①	須貝尚介(栗東)	108
2	①	ジーネキング	牡2	55	斎藤 新	クビ	1-1-1-1	36.1	478(+4)	31.1⑩	斎藤 誠(美浦)	107
3	⑪	スマートブリエール	牝2	55	武 豊	1½	7-5-6-6	35.7	476(+10)	5.3④	大久保龍志(栗東)	104
4	⑩	アーレムアレス	牡2	55	菱田裕二	1¼	12-12-8-8	35.7	484(+6)	4.2②	橋口慎介(栗東)	102
5	⑧	ロスパレドネス	牡2	55	Cルメール	%	9-9-8-9	35.8	490(-6)	5.1⑩	木村哲也(美浦)	
6	⑥	サンセントゴールド	牡2	55	鮫島克亮	%	3-3-4-3	36.2	456(+8)	28.2⑨	矢作芳人(栗東)	
7	⑫	オフラブリーマ	牝2	55	石橋 優	%	11-11-12-11	35.5	416(+10)	25.9⑧	上原佑紀(美浦)	
8	⑦	ミリオンクラウン	牡2	55	丹内祐次	クビ	3-3-3-4	36.6	494(-2)	73.6⑩	田中淳司(北海道)	
9	③	ボベット	牝2	55	橋木太希	ハナ	7-7-7-6	36.2	412(-4)	7.3⑤	高橋康之(栗東)	
10	⑤	ヒシアムルーズ	牡2	55	佐々木大輔	ハナ	2-2-2-2	36.9	474(+2)	22.5⑥	堀 宣行(美浦)	
11	⑨	トーアサジタリウス	牡2	55	古川吉洋	4	6-7-8-11	36.7	448(-8)	234.6⑭	佐々木国明(北海道)	
12	②	ジャスティンシカゴ	牡2	55	横山武史	3½	5-5-4-4	37.8	484(-4)	22.9⑦	宮田敬介(美浦)	

単勝①340円(1^%) 複勝①70円(3^%) ①590円(10^%) ①170円(2^%) 枝連①-④6,330円(22^%)

馬連①-④4,640円(18^%) ワイド①-④1,370円(16^%) ④-①460円(3^%) ①-④1,580円(22^%)

馬單①-④6,300円(23^%) 3連複①-④-①-④6,410円(20^%) 3連単①-①-①32,110円(10^%)

通過タイム : 600m 800m 1000m 上り : 800m 600m
38.2 - 50.5 - 1:02.6 48.0 - 36.1

アラカルト

- 池添謙一騎手は札幌2歳S初勝利。JRA重賞は本年3勝目、通算100勝目
- 須貝尚介調教師はマジックサンズで制した24年に続く札幌2歳S5勝目で単独トップの勝利数。JRA重賞は本年3勝目、通算54勝目
- ハービンジャー産駒はJRA重賞通算45勝目
- 牡馬の勝利は24年マジックサンズに続く通算48回目

ショウナンガルフ *Shonan Gulf*

牡 鹿毛 2023.1.16生
北海道安平町 ノーザンファーム生産
馬主・国本哲秀氏 栗東・須貝尚介厩舎
馬名意味・冠名+渦巻、大きな湾

父ハービンジャーGB

英9戦6勝(キングジョージVII世&クイーンエリザベスS G₁、ハードウィックS G₂、ゴードンS G₃、オーモンドS G₃)、11年から日本で供用
〔代表産駒〕ノームコア(香港C G₁、ヴィクトリアマイルG₁)、ディアドラ(秋華賞G₁、ナッソーソ・英G₁)、チエルヴィニア(オークスS G₁、秋華賞G₁)、プラストランピース(有馬記念G₁)、モズカッチャン(エリザベス女王杯G₁)、ペルシアナンナイト(マイルチャンピオンシップG₁)、ナミュール(マイルチャンピオンシップG₁)、アルマヴェローチェ(阪神ジュベナイルフィリーズG₁)、ニシノディジー(中山大障害J G₁ 2回、東京スポーツ杯2歳S G_{III}、札幌2歳S G_{III})、ローシャムパーカ(オールカマーG_{II}、函館記念G_{III}、BCターフ・米G₁ 2着)、ドレッドノータス(京都大賞典G_{II})、ハービンマオ(関東オーカスJ_{II})、ヒンドウタイムズ(小倉大賞典G_{III})、他に重賞勝ち馬多数

母ミカリーニョ

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央10戦2勝
ヘルス(21 牡父ロードカナロア)中央1戦0勝
メディテラニア(22 牡父サートゥルナーリア)中央4戦2勝(御在所特別)⑩
〔ショウナンガルフ〕本馬(23 牡父ハービンジャーGB)中央2戦2勝(札幌2歳S G_{III}) 獲得総賞金38,927,000円
(24 牡父ドレフォンUSA)
(25 流産)

祖母ミスエーニョUSA

北米2勝(デビューターンS・米G₁、ソレントS・米G₃)、13年輸入
エルスエーニョ Elle Sueno(12 牡父Street Cry)北米0勝、ドリームリス Dream Lith(ゴールデンロッドS・米G₂、エイコーンS G_{III} 3着)の母
〔ミスエルテ〕(14 牡父Frankel)持込 中央2勝(ファンタジーS G_{III})、ミエスペラ
ランサ(國立特別、君子蘭賞)の母
ミカリーニョ(15 前出)
ミディオーサ(16 牡父ディープインパクト)中央2勝
ミアマンテ(17 牡父キングカメハメハ)中央2勝(ベゴニア賞)
ミファヴォリート(19 牡父キングカメハメハ)中央4勝(三条S、西湖特別、
総武S 3着、ポルックスS 3着)
〔ミアネーロ〕(21 牡父ドゥラメンテ)中央2勝(フラワーC G_{III}、紫苑S G_{II} 2着)⑩
〔ショウナンザナドウ〕(22 牡父キズナ)中央2勝(フィリーズレビューG_{II}、アル
テミスS G_{III} 3着)⑩
モノボリオ(23 牡父リアルスティール)中央1勝 ⑩

ミスエーニョUSA系 F23-b			
ハービンジャーGB Harbinger 鹿毛 2006	Dansili 黒鹿毛 1996	Danehill	
		Hasili	
ミカリーニョ 黒鹿毛 2015	Penang Pearl 鹿毛 1996	Bering	
		Guapa	
	ハーツクライ 鹿毛 2001	サンデーサイレンスUSA	
		アイリッシュダンス	
	ミスエーニョUSA 黒鹿毛 2007	Pulpit	
		Madcap Escapade	

5代までのインブリード: Northern Dancer S 5×S 5 Lyphard S 5×M 5

INTERVIEW

高見優也厩舎長(ノーザンファーム空港)

バランスに秀でた馬体をしていました

セレクトセールでも高い評価を受けていたように、バランスに秀でた馬体をしていました。調教ではしなやかさと軽さが両立し、早期からの活躍を期待できるようになりました。新馬戦の後は牧場で調整を行いましたが、いい状態で送り出せたので勝ち負けの競馬になると期待をしていました。当日は競馬場にいましたが、目の前での重賞勝利は本当に嬉しかったです。



須貝尚介調教師に5回目の札幌2歳S制覇、池添騎手に節目のJRA重賞デビュー。2番手追走から悠々と抜け出した7馬身差の圧勝を飾り、脚光を浴びた。初戦とは一転、末脚勝負に構えたこの日は非凡な決め手と持久力を強烈にアピール。2023年のセレクションセール当歳市場において、2億100万円(税別)で落札された高馬の前途には大きな期待が膨らむ。

夏の北海道シリーズのフィナーレを飾る札幌2歳Sは今年、中山・阪神開催がスタートする秋競馬の開幕週に行われた。皐月賞馬ショウナンガルフの全弟ロスペードネス(父ドレフォン)、重賞を4勝したスマートレイナーの仔スマートリエール(父エピファニア)らを抑え、1、2番人気に支持されたのは、函館の新馬戦から転戦してきた2頭のハービンジャー産駒。このうち、1番人気の支持を背負ったショウナンガルフが豪快な追い込みを決め、"北海道の夏競馬"を締めくくった。最内枠から軽快に飛び出したコントレイル産駒ジーネキングが1コーナーで先手を奪取、ゆったりとしたラップ

を刻んで風を切る。外枠を引いたスマートブリエールは中団の外につけ、口 spasレドネスがその2、3馬身後ろを追走。2番人気の支持を集めたアーレマレスはスタートで立ち遅れ、最後方を進んだものの、3コーナー手前から追撃にかかり、ポジションを押し上げていった。ロスペードネスを前に見ながら、後方3、4番手で脚を溜めたショウナンガルフの池添謙一騎手はアーレマレスの仕掛けをやり過ごし、ひと呼吸置いてからスパート。横に広がった馬群の大外を回りながらも着実に間合いを詰め、先行勢を射程に收めて直線に向く。マイペースの逃げを打ったジーネキングも直線入口で後続を突き放し、押し切りまであと一歩と迫ったが、息の長い末脚を發揮したショウナンガルフがゴールの寸前、逃げ馬をキックリ捉えて勝利を掴んだ。

S制覇、池添騎手に節目のJRA重賞7月に函館・芝1800mの新馬戦でデビュー。2番手追走から悠々と抜け出した7馬身差の圧勝を飾り、脚光を浴びた。初戦とは一転、末脚勝負に構えたこの日は非凡な決め手と持久力を